

2024年ご報告(1月~12月)

ねこ関連のご報告

今年は初めてゴールデンウィークにsimabossnekoさんとぺにゃんこさんの写真展を行いました。計画から当日までの設営、お客さんへのご案内などsimabossnekoさんたちに大変お世話になりました。GW中天気がすぐれない日が多く、思ったようにはいきませんでした。たくさんの方にご来場いただき喜んでもらえました。深島のねこたちのこと、島に暮らす猫たちのことを知ってもらえるきっかけになったのではと思っています。

今後も機会があれば、コラボでのイベント開催やグッズの販売などをできるといいなと思っています。11月はアイランダーにねこ図鑑を持って行き、販売しました。

また、2023年の宮崎大学との健康調査の際に来てくださった大分県庁の方とお話から、愛護センターへとつながり、愛護センターのねこたちを受け入れる話し合いを進めました。しばらく電話でのやりとりでしたが、12月に愛護センターへ行き、直接打ち合わせをすることができたのはとても大きな一歩です。その際に初めて愛護センターの中に入り、いろいろと説明をしてもらいながら見学することができました。愛護センターとの連携が進めば、全国的にもとても珍しい事例となると思っています。繊細なことなので、スタート時のリアルタイムでの報告はしないつもりですが、経過をしっかりと撮影、記録して報告します。

2024年の大きな成果は「深島ねこ図鑑vol.3」を製作・発行したことです。発行元は観光まちづくり佐伯(旧佐伯市観光協会)ですが、内容のほとんどをdeepblueでまとめ、デジタル版も製作することができました。深島に来る前に、深島に来なくても、深島に来てからも楽しめる、とてもよいものができました。ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました！

<ねこたちのごはん>

寄付でお送りしてくださる方がたくさんおり、また島に来る際にお土産でねこたちのフードを持ってきてくれる方も多かったです。とても助かっています。SNSをもう少ししっかり頑張ります。

<医療など>

しーちゃん、ちなつは継続的に投薬しました。もっと気軽に相談やお薬を頼める獣医さんが見つかると嬉しいのですが、なかなか難しい状況です。

ねこ関連以外のご報告

<清掃活動>

昨年に引き続き、草刈りやごみ拾いなどを行いました。

<花いっぱい運動>

チューリップの球根や水仙の球根を植えました。これまで失敗続きだったシバザクラが少しついてくれた感じがしています。多肉植物のようなものが自生しているのを移植し、増えつつあります。

2024 年ご報告②

収支

項目	支出（円）	
ねこ 医療費	39,495	
手当・管理費	370,000	
広告宣伝	115,480	サイト改修/サーバー代含む
ねこえさ代	298,228	
外注費	1,826,068	ねこ図鑑・ねこ神社
花・樹木	12,701	
荷造り運賃	40,100	郵送費など
消耗品	12,246	
仕入	490,990	
雑費	19,912	支払い手数料など
計	3,225,220	

項目	収入（円）
寄付	1,298,264
販売収益	292,379
利息	174
雑収入（クラファン）	985,834
計	879,373

残金			
現金	178,073		
ゆうちょ	509,020		
大分銀行	93,809		
計		780,902	

今後の活動について

2025年1月から、愛護センターのねこ受け入れのためのねこさん慣らし場所とねこたちが雨風をよけられる猫ハウスの製作にとりかかりました。どうなっていくのかはまだわかりませんが、殺処分を少しでも減らすため、深島がねこの幸福の啓もうの一助となれるよう頑張りたいと思います。ねこ図鑑やねこ図鑑デジタルの販売も工夫して行いたいです。ねこ図鑑の製作、ねこ神社の製作、そして今後はねこのハウスとかなり出費が増えてしまったので、今年はしっかり稼ぎたいと思います。ねこたちにも頑張ってもらいます。

2025年のスケジュール（予定）

2月 桜を植える
4月 桜の申し込み（市報）

ねこ
春に2～3回のノミダニ駆除
ワクチン接種
夏の終わりにノミダニ駆除

通年：花壇の手入れ、草刈り、ごみ拾い

代表より
2024年はねこ図鑑vol.3を製作できたことがとても大きく、デジタル版という新しい取り組みにもチャレンジしました。愛護センターとの連携も進みそうで、これまでいろいろあたためてきた、種をまいてきたことがつぼみをつけそうな気がしています。簡単にはいかないことが多いですが、今後の目標のひとつは島に住みねこたちのことをともに支えてくれる人をみつける、ということです。ねこたちのお世話はもちろんですが、収支の管理や寄付をくれた方へのお礼、ショップの運営などもっと進めていきたいと思っています。深島も、でいーぷまりんも、安部家も年々変化していく中で、どんなバランスで取り組んでいくかが永遠の課題です。